



平成31年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年8月9日

上場会社名 永大化工株式会社

上場取引所 東

コード番号 7877 URL <http://www.eidaikako.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大野裕之

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 浦 義則

TEL 06-6791-3355

四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	1,947	3.5	112	60.8	155	93.4	108	100.8
30年3月期第1四半期	1,882	25.2	70	538.8	80		54	

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 46百万円 (94.5%) 30年3月期第1四半期 24百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	17.17	
30年3月期第1四半期	8.55	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第1四半期	8,465	6,452	76.2	1,019.23
30年3月期	8,815	6,475	73.5	1,022.84

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 6,452百万円 30年3月期 6,475百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		0.00		11.00	11.00
31年3月期					
31年3月期(予想)		0.00		11.00	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成30年10月1日を効力発生日として普通株式5株を1株の割合で株式併合することを予定しておりますが、平成31年3月期(予想)の1株当たり配当金につきましては、株式併合前の株式数をもとに算出しております。

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計) 通期	7,500	7.4	280	3.4	280	18.7	200	5.4	31.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

詳細は、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期1Q	7,300,000 株	30年3月期	7,300,000 株
期末自己株式数	31年3月期1Q	969,053 株	30年3月期	969,053 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期1Q	6,330,947 株	30年3月期1Q	6,332,342 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、設備投資や企業収益が引き続き堅調に推移するなか、雇用・所得環境の改善を背景に個人消費は緩やかな持ち直しの動きが見られ、総じて回復基調が続いております。一方、世界経済は、米国政権の保護主義への傾斜と米国発の貿易摩擦の強まりに伴う国内景気への影響が懸念されるなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経済環境のもと、当社グループにおきましては、押出成形、純正フロアーマットメーカーとして顧客のニーズに沿った新製品の開発から既存品の高付加価値商品化を高め、積極的な営業展開を進めるとともに、コスト競争力のある生産調達ルートの確立と生産性の向上を図り、収益体質の強化に努めてまいりました。

その結果、売上高19億47百万円（前年同期比3.5%増）、営業利益1億12百万円（前年同期比60.8%増）、経常利益1億55百万円（前年同期比93.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1億8百万円（前年同期比100.8%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①自動車用品関連

自動車用品関連につきましては、国内新型車の販売が順調であったこと、一部の新型軽自動車の初期納入が加わり純正フロアーマットの売上は好調でありました。また、新アイテムの純正オールウェザーマットの売上も伸ばしたことから、売上高14億93百万円（前年同期比5.6%増）、営業利益96百万円（前年同期比195.2%増）となりました。

②産業資材関連

産業資材関連につきましては、I Cデバイスや各種電子部品等の搬送・保管用トレーの半導体関連部材等及び下水道補修用部材の売上は順調でありましたが、オフィス家具関連の売上は、春先までの需要が一巡したことにより低調であったことから、売上高4億53百万円（前年同期比3.0%減）となりました。利益面につきましては、原油価格の高騰から原材料費の値上げが影響し、営業利益16百万円（前年同期比55.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当社グループは、適切な流動性の維持、事業活動のための資金確保、および健全なバランスシートの維持を財務方針としております。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態の状況については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度との比較・分析を行っております。

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、84億65百万円となり、前連結会計年度末と比較して3億50百万円の減少となりました。

流動資産は、前連結会計年度末と比較して2億63百万円の減少となりました。その主な要因は、現金及び預金の減少1億78百万円、受取手形及び売掛金の減少1億46百万円、たな卸資産の増加51百万円によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して86百万円の減少となりました。その主な要因は、有形固定資産の減少19百万円、無形固定資産の減少14百万円、繰延税金資産の減少33百万円、投資その他の資産の減少18百万円によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の負債は、20億13百万円となり、前連結会計年度末と比較して3億27百万円の減少となりました。

流動負債は、前連結会計年度末と比較して3億23百万円の減少となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金の減少1億66百万円、電子記録債務の減少60百万円、賞与引当金の減少79百万円によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して3百万円の減少となりました。その主な要因は、役員退職慰労引当金の増加1百万円、退職給付に係る負債の減少5百万円によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、64億52百万円となり、前連結会計年度末と比較して22百万円の減少となりました。その主な要因は、利益剰余金の増加39百万円、その他有価証券評価差額金の減少14百万円、為替換算調整勘定の減少55百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の通期の連結業績予想については、平成30年5月11日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,762,390	1,584,224
受取手形及び売掛金	1,787,223	1,641,075
商品及び製品	797,075	880,880
仕掛品	168,186	182,026
原材料及び貯蔵品	842,482	795,880
未収入金	91,074	72,209
その他	93,654	122,188
流動資産合計	5,542,087	5,278,485
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	638,169	626,473
土地	1,544,809	1,544,809
その他(純額)	385,187	376,909
有形固定資産合計	2,568,166	2,548,192
無形固定資産		
土地使用権	226,042	210,022
その他	12,625	14,327
無形固定資産合計	238,667	224,349
投資その他の資産		
繰延税金資産	86,318	52,403
投資その他の資産	380,750	362,375
投資その他の資産合計	467,069	414,778
固定資産合計	3,273,904	3,187,320
資産合計	8,815,991	8,465,806
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	712,454	545,924
電子記録債務	775,609	715,541
短期借入金	50,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	8,000	3,800
未払法人税等	40,570	18,272
賞与引当金	121,620	41,782
役員賞与引当金	20,000	—
その他	207,786	237,221
流動負債合計	1,936,041	1,612,543
固定負債		
再評価に係る繰延税金負債	281,303	281,303
役員退職慰労引当金	41,201	43,069
退職給付に係る負債	81,904	76,218
固定負債合計	404,408	400,590
負債合計	2,340,450	2,013,133

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,241,700	1,241,700
資本剰余金	1,203,754	1,203,754
利益剰余金	3,628,526	3,667,589
自己株式	△237,444	△237,444
株主資本合計	5,836,536	5,875,599
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	61,000	46,074
繰延ヘッジ損益	△4,567	2,110
土地再評価差額金	476,930	476,930
為替換算調整勘定	123,459	67,779
退職給付に係る調整累計額	△17,817	△15,820
その他の包括利益累計額合計	639,004	577,073
非支配株主持分	—	—
純資産合計	6,475,541	6,452,672
負債純資産合計	8,815,991	8,465,806

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	1,882,283	1,947,307
売上原価	1,433,100	1,427,593
売上総利益	449,183	519,714
販売費及び一般管理費	379,013	406,888
営業利益	70,170	112,826
営業外収益		
受取利息	107	19
受取配当金	1,403	1,405
受取賃貸料	1,111	1,111
為替差益	6,329	38,011
その他	1,686	2,445
営業外収益合計	10,638	42,993
営業外費用		
支払利息	143	84
その他	273	243
営業外費用合計	417	327
経常利益	80,391	155,492
特別利益		
固定資産売却益	73	2,182
特別利益合計	73	2,182
特別損失		
固定資産除却損	3,975	444
特別損失合計	3,975	444
税金等調整前四半期純利益	76,490	157,230
法人税、住民税及び事業税	1,754	12,352
法人税等調整額	20,598	36,174
法人税等合計	22,353	48,527
四半期純利益	54,136	108,703
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	54,136	108,703

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益	54,136	108,703
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,248	△14,926
繰延ヘッジ損益	—	6,678
為替換算調整勘定	△41,837	△55,680
退職給付に係る調整額	4,498	1,996
その他の包括利益合計	△30,090	△61,931
四半期包括利益	24,046	46,771
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	24,046	46,771
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		
	自動車用品関連	産業資材関連	計
売上高			
外部顧客への売上高	1,414,203	468,080	1,882,283
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	1,414,203	468,080	1,882,283
セグメント利益	32,532	37,638	70,170

(注) セグメント利益の金額の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		
	自動車用品関連	産業資材関連	計
売上高			
外部顧客への売上高	1,493,397	453,910	1,947,307
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	1,493,397	453,910	1,947,307
セグメント利益	96,035	16,791	112,826

(注) セグメント利益の金額の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。